

3類型	農林水産物	通巻番号	7-26-008
地域資源名	鹿(肉)	認定日	平成27年2月2日
地域	安芸市、香美市、大豊町、本山市、土佐町、大川村	所管省庁	農林水産省・経済産業省

事業名: 鹿肉を活用したペット用加工食品の開発・製造・販売

会社名: 燈ので家 小森將義
 連絡先: TEL: 0887-72-0280
 FAX: 0887-72-0280

所在地: 高知県長岡郡大豊町立川上名1239-13
 HP: <http://hinodeya-otoyo.com/>

事業概要(新たな活用の視点)

- 本事業は、地域産業資源である鹿肉が有する高タンパク、低脂肪、低カロリーで、鉄分を豊富に含む特性を活かした、鹿肉を活用したペット用加工食品の開発・製造・販売を行うものである。
- 鹿肉を約70℃で30分以上加熱(焼き処理)した後、鹿肉を拭き、再度5分程度加熱し表面を乾かした後にカットし、真空包装、加熱による殺菌処理を行うことで、鹿肉が持つ豊富な栄養成分と肉質を損なうことなく、また保存料、添加物、着色料などを使用していない無添加のペット用加工食品の製造が可能となった。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- 鹿肉の栄養成分と肉質を損なうことなく、なおかつ保存料、添加物、着色料などを使用していない無添加の加工食品として差別化を図っている。

◆市場性

- ペットの高齢化や肥満等の生活習慣病への対策として、今後、高付加価値製品の需要が拡大していくことが予想されており、本事業で開発する鹿肉を活用した栄養価が高くヘルシーなペット用加工食品に対するニーズは高いと推測される。

◆販路

- ペットの健康を気遣うペットオーナーを主たるターゲットとして、ペットオーナー向けのイベント等に積極的に参加することにより、商品のファンづくりと販売に努め、自社のネット通販サイトを立ち上げ、直販体制を確立させる。
- ペット用品を取り扱うECサイト、ペットショップ等を対象とした新規の販路開拓に努め、新たな需要の創出を図っていく。

鹿肉



鹿肉を活用した
ペット用加工食品(試作品)



地域における関係事業者との連携

- 大豊町商工会が中心となって実施している『命輝くまち・大豊 不老の「食」と「観光」産業創出』プログラムのメンバーである大豊町商工会、大豊町の支援を得ながら事業を進める。
- 鹿肉の調達については、指定地域内の猪鹿工房おおとよ等の鹿肉解体処理事業者が処理したブロック肉を活用する。